

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		法人としての理念だけでなく、グループホームとしての理念・目標があるとよいと指導いただいた。現在はグループホームとしての理念はない。	グループホームとしての、理念を設定する。	ユニット会議を活用し、職員全員でグループホームとしての目標を話し合い、意見を吸い上げ設定する。	2ヶ月
2		現在は看取りは行っていない。	看取りに関する指針を話し合い、決める。	大和会としての看取りケアの指針を話し合う。看取りケアについての理解を深める。	6ヶ月
3		入居者家族との関わりに関して。	グループホームでの生活の様子や現在の状況がより詳細に伝えられるようにし、ご家族ともよりよい関係づくりができるようにする。	毎月発行しているグループホーム通信へは、手書きで文章を添える。また、面会に来られたご家族や知人の方へは笑顔で挨拶すること及び情報提供を徹底する。	10ヶ月
4		職員の認知症ケアに関する知識が十分でない為、その知識を深めていきたい。	職員の認知症ケアに関する理解をより深められるようにする。	千葉県や柏市などで行っている認知症に関する研修に積極的に参加していく。	12ヶ月
5		まだ新しい施設ということもあり、地域との関わりや交流が十分ではない。	近隣の方や、地域の方々と顔見知りの関係となる。	小学校の先生や近くの駐在所の警察官へも運営推進会議等に参加していただき当施設や認知症の方の理解をしていただく。小学校の運動会等の行事へ参加をさせていただく。	12ヶ月